

平成26年度 公の施設目標管理型評価書

施設名	老人デイサービスセンターかんばらの里			
管理者名	社会福祉法人 秋葉福祉会	指定期間	平成24年4月1日 ~ 平成27年3月31日	
新潟市主管課	秋葉区 健康福祉課			
所在地	区名	秋葉区	住所	秋葉区古田616番地7
根拠法令	老人福祉法			
設置条例	新潟市老人デイサービスセンター条例			
施設概要	敷地面積 2,005.00㎡, 建築面積 445.39㎡, 延床面積 359.39㎡ 建物構造・主な施設内容 (構成施設の内容) 鉄筋コンクリート1階建			

施設設置目的

老人の健康な心身の保持と安定した生活の維持を図るため、老人福祉法第15条第2項の規定に基づき、老人デイサービスセンターを設置する。

管理・運営に関する基本理念、方針等

【基本的理念】

- (1) 老人デイサービスセンターは、要介護状態になった高齢者に対して、自立的生活の助長・利用者の社会的孤独感の解消、心身機能の維持向上並びに利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減を図ることを目的とした通所施設であるという設置理念に基づき、管理運営を行う。
- (2) 公の施設であることを認識し、市民の平等利用が確保されるように公平な管理運営を行う。
- (3) 効果的・効率的な管理運営を行い、経費の削減に努める。
- (4) 利用者や地域住民の意見を管理運営に反映させる。
- (5) 利用者からの苦情を解決する体制を取り、サービスの向上に努める。
- (6) 近隣住民や他の組織、事業者と良好な関係を維持する。
- (7) 省エネルギーに努めるとともに、廃棄物の発生を抑制し、環境に配慮した管理を行う。
- (8) 個人情報の保護の徹底し、その取扱いを適正に行える体制を整える。
- (9) 法令等の遵守。

【基本的法令等】

- (1) 地方自治法 (昭和22年法律第67号)
- (2) 老人福祉法 (昭和38年法律第133号)
- (3) 介護保険法 (平成9年法律第123号)
- (4) 新潟市老人デイサービスセンター条例 (平成6年新潟市条例第23号)
- (5) 新潟市老人デイサービスセンター条例施行規則 (平成6年新潟市規則第38号)
- (6) 新潟市個人情報保護条例 (平成13年新潟市条例第4号)
- (7) その他管理運営に適用される法令・規定

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価	評価コメント
市 民	低所得者対策の実施の有無	社会福祉法人減免事業の実施の有無	利用者・ケアマネに確認し、対象者については適正に実施した。	A	社会福祉法人減免事業を実施し、適正に実施している。
	苦情・要望に対する対応	・対応マニュアル等の有無 ・1週間以内に対応	対応マニュアル 有 利用者・ご家族からの苦情要望、ケアマネからのものについても即日対応し、職員にも周知を図っている。	A	対応マニュアルあり、即日対応がされている。
財 務	※公設民営、介護報酬で運営されているため、委託料なし				
業 務	事件・事故発生時の対応の適切さ	・対応マニュアル等の有無。 ・避難訓練等の実施年に2回以上。	対応マニュアル 有 避難訓練については、年2回実施し、うち1回は併設の特養と地域消防団と合同で実施。	A	対応マニュアルあり、避難訓練を併設施設との合同で実施するなど連携を意識した訓練がなされている。
	業務仕様書等に定める事項の遵守	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	マニュアルについては、平成25年度は全面的な見直しを行い、園内研修で周知した。	A	園内研修を実施し、業務仕様書等に定める事項の周知に努め、随時見直し改善を図っている。
	個人情報保護の徹底	・対応マニュアル等の有無。 ・個人情報保護の遵守。	対応マニュアル 有 新人研修、園内研修で周知し、徹底している。	A	マニュアルを作成し、内部研修を実施し周知を図っている。
	管理運営者としての適切さ	行政機関からの指導監査等における指摘事項の有無。	指導事項はない。設備点検は、適正に外部業者に委託して行った。	A	指摘事項はない。適切に事業が行われている。
人 材	適正な人員配置	国で規定する職員数を配置している。	人員配置は適正に配置している。	A	適正な職員数を配置している。
	職員の資質向上の取組み	技能・技術を維持向上するための研修の実施	正職員は年に1回以上の外部研修に参加し、知識と資質の向上に努めた。 また、内部での伝達研修を行い、パート職員も含めて周知を図った。	A	園内研修を実施し、外部研修に参加するなど意欲的に能力向上が図られている。

総 合 評 価 (所 見)	
<p>・適正な通所介護事業所として、定員30人、1日利用者数22人を目標として、年度前半は1日利用者数23.5人と順調な滑り出しであったが、後半は入院者と施設入所者が増えたため、結果としては1日利用者数21.9人と、わずかに目標に達しなかった。</p> <p>・居宅介護支援事業所との連絡を密に行うとともに、利用者の意向や家庭環境の把握を行い、自宅において可能な限り自立した生活が送れるように援助を行っている。</p> <p>・利用者や家族との信頼関係を構築するため、送迎時やカンファレンスでは利用状況の説明などきめ細かい対応に努めた。年度末に利用者と、居宅介護支援事業所に実施したアンケート調査の結果では送迎時の接遇など概ね良いとの評価をいただいたが、今後も引き続き安心と安全のサービス提供に心がけ、より満足度の高いサービスの提供に努めることとする。</p>	